

令和5年11月18日  
横浜市消防操法技術訓練会にて



南

第三分団は、阪東橋公園を拠点に、地域の安全と防災に貢献しています。渡邊 尚分団長以下、10代から70代までの67名が所属しており、外国籍の方も2名所属しています。

私達は、技術力とチームワークに自信があり、昨年7月に行われた南消防団夏季訓練会では、南区の代表に選ばれました。そして、11月に開催した横浜市消防操法技術訓練会に出場し、小型ポンプを使った消火技術を披露しました。第三分団は、常に訓練に励み、災害時には迅速かつ正確に対応できるようにしています。

また、地域の人々とも親しく交流しています。渡邊分団長は、「様々な世代の方が参加され、非常に活気があります。活発なコミュニケーションが取られており、これが訓練会への代表として選ばれた大きな要因の一つだと考えています。出場者以外の団員も真面目に訓練に取り組んでおり、お互いに教え合いながら技術を高めています。もし興味がありましたら、ぜひ第三分団にご参加頂きたいです」とコメントしています。

第三分団は、新しい仲間を募集しています。入団に興味がある方は、本誌の募集要項または消防団員にお声がけください。

老若男女や国籍を問わず  
全員がそれぞれできることを



渡邊 尚 分団長



# 南消防団だより

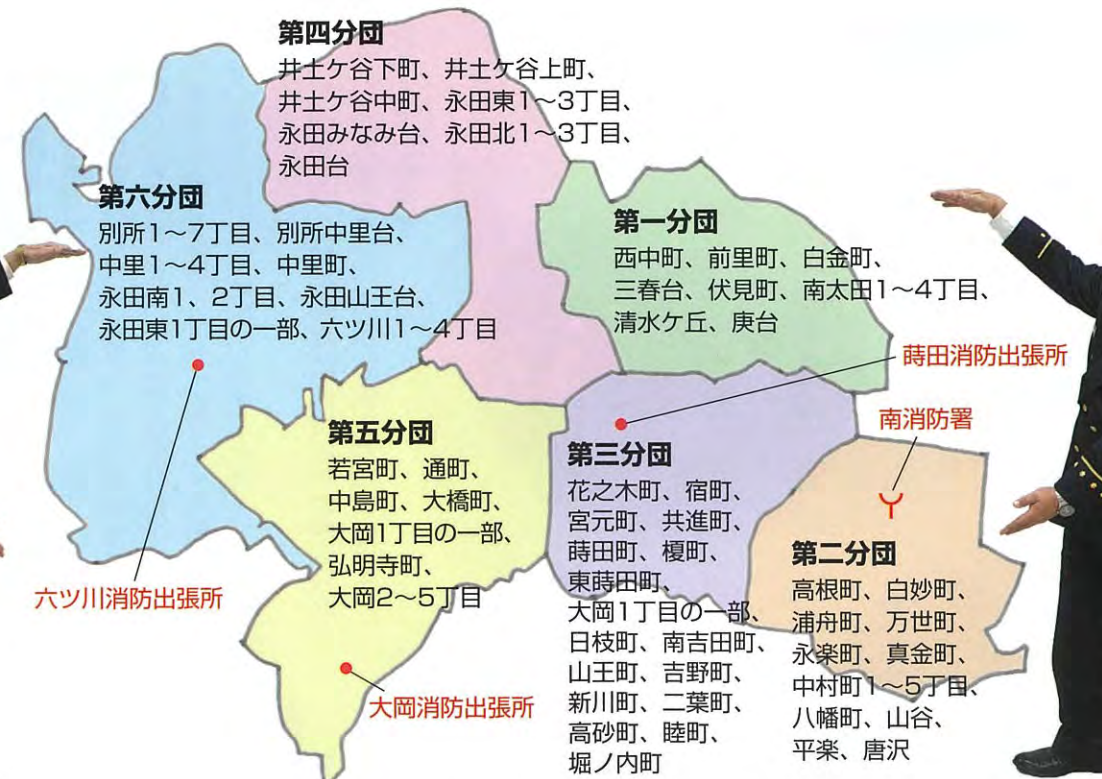
令和6年  
春号  
第32号

発行・編集 南消防団広報委員会

## 特集 あなたの町の消防団！

皆さんは、災害からこの町を守るために活動する消防団が6つの分団に分かれていることや、地域別に担当していることをご存知でしょうか？

消防団をより多くの方に関心を持っていただけるように、特集として各分団のPRを企画しました。この第32号では第一分団、第二分団、第三分団を紹介します。



南消防団長 有賀 和彦



南消防署長 今山 徹

南消防団担当区域図

平素から消防団の活動に対し、御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。さて、昨年7月には、操法・礼式・資機材取扱いの三大訓練を、10年ぶりに開催し、団員の技術向上を図ることができました。また、令和3年に市内で初めて発足した外国人防災指導チームの活動も着実に進めるとともに、「南声楽隊」改め「南混成合唱団」では、4年ぶりに出初式で活動開始し、消防団の活動、団員募集など、幅広く広報を行ないました。これからも、消防団・消防署・地域と連携し、地域防災に取り組みでまいります。

昨年中は、消防行政に格別の御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。区内には、大きな災害はありませんでしたが、過去の災害を鑑みますと、区民の皆様から、消防署・消防団に求められる役割や期待は、これまで以上に大きくなっています。発生が危惧される首都直下地震などの大規模災害時において、消防団や関係機関と連携し、的確に対応できるよう消防署一丸となり邁進していく所存です。

本年が、平穏な年で、皆様方のますますの御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げまして挨拶とします。

令和6年1月1日、令和6年能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

### 南消防署 通信

## たばこ火災急増中！

市内の出火原因は「放火」に代わり「たばこ」が最多となりました。

- ・寝たばこをしない
- ・灰皿に吸い殻をためない
- ・火が完全に消えているのを確認してから捨てる

その他の住宅防火に関する情報はこちら→

## 南消防団員募集！

女性や外国人の方も大活躍！！  
もっと知りたい方はこちら↓↓



問合せ：南消防署総務・予防課（担当：消防団係、予防係）045-253-0119



**第一分団で力を入れて  
いる活動の一つとは？**

南消防団第一分団は太田地区連合町内会、太田東部連合町内会に相当する地域、大岡川を境にして南区の北東部を三班体制で担当しています。

この地域は他の南区内の各地域と同様、狭い道、行き止まりの道沿いに住宅が密集した場所も多く、配置されている消防資機材を運搬するための積載車三台はすべて軽自動車です。

第一分団で力を入れている活動の一つに「防

災指導」があります。

自治会、町内会から要請され、地域の防災訓練の会場に伺い、消火器の使い方、町内で設置した初期消火箱に格納されているスタンドパイプ式初期消火器具を使用した消火栓からの放水訓練、AEDの使い方、胸骨圧迫(心臓マッサージ)の方法などを解りやすく説明しています。

災害時の対応だけではなく、災害を未然に防ぐ、起こってしまった災害の被害を少しでも少なくする知識などを、地域の皆さんにお伝えすることも大切な消防団の活動だと考えています。

これからも、地域の皆様のお役にたてる消防団でいられるように、日々訓練を重ね、知識を深めてまいります。

災害時の対応だけではなく、災害を未然に防ぐ、起こってしまった災害の被害を少しでも少なくする知識などを、地域の皆さんにお伝えすることも大切な消防団の活動だと考えています。

**担当地域（南区東部）とその特徴**

- 高根町、白妙町、浦舟町、万世町、永楽町、真金町  
津波対応は、迅速かつ正確な情報収集と早めの避難誘導が望まれる。  
ビル群が多く、住居人員も多い。都市型の対応が望まれる。
- 中村町、八幡町、山谷  
道路が狭く、小型の積載車による対応が求められる。  
木造建築物が多く、初期消火が重要である。
- 平楽、唐沢  
山と坂が多く、道路が狭く、かつ小型積載車で通行できない地点がある。  
そこで消火栓からのホース延長の対応が求められる。  
また、強風雨を想定した火災消火対応や避難訓練も望まれる。

**二分団固有の活動**

- ・ 西の市パトロール (写真①)
- ・ 夏まつりでの放水訓練
- ・ 福祉施設等で積載車の展示他
- ・ 新入団員に対して、個別指導を実施。  
理解度に応じてやさしく ていねいに。  
(写真②③)

**構成**

団員 65名 (令和5年9月1日現在)  
内訳 (男性47名)  
(女性18名)  
☆女性団員が活躍!  
二分団幹部 部長2名  
班長2名

**外国人対応**

外国人団員 4名  
内訳 (中国人3名)  
(韓国人1名)  
☆日本人団員の中に英語を話せる団員もいる。

**二分団行動指針**

- ・ 堅き団結を守る。
- ・ 正しい規律を守る。
- ・ 社会の指針となる。
- ・ 災害に挺身する。
- ・ 相互の親睦を計る。



写真①



写真②



写真③

- 一般功労表彰  
南太田一丁目第一町内会 会長 廣瀬 洋  
八幡町第一会 会長 菅原 初夫  
永田町上第二町内会 会長 竹本 淳一  
大岡地区連合町内会 会長 浅田 稔  
南永田中町内会 会長 中原 健事
- 親子団員に対する表彰  
二分団 副分団長 宮崎 健次親  
団員 宮崎 健太(子)
- 家族に対する表彰 (六分団)  
部長 朝長 剛志 妻 加奈子  
班長 石野 弘和 妻 優子  
班長 山野 雅史 妻 千恵  
班長 渡邊 雅彦 妻 いづみ  
班長 増田 大介 妻 洋子  
団員 白鳥 博隆 妻 友枝
- 五分団  
団員 齊藤 秀明  
部長 石川 光男  
班長 亀山 路人  
団員 成亥 重則  
団員 吉田 智志  
団員 須原 照安  
班長 皆川 幸夫  
班長 青山 万希也  
団員 和田 光生  
団員 澤口 勝太郎
- 六分団  
班長 須原 照安  
班長 皆川 幸夫  
班長 青山 万希也  
班長 和田 光生  
班長 澤口 勝太郎

- 優良消防団員表彰  
一分団 部長 望月 隆  
班長 町田 幸  
団員 宇野澤 昇一  
二分団 班長 末次 真也  
班長 向山 豊  
班長 石橋 賢一  
班長 今村 裕二  
班長 豊田 一也  
班長 染谷 智之  
班長 大石 由香里
- 十年勤続表彰  
一分団 班長 町田 幸  
二分団 班長 内山 正義  
班長 田中 涼  
班長 清水 光子  
班長 成亥 重則  
班長 浦末 洋平  
班長 石野 弘和  
班長 増田 大介  
班長 山本 正幸
- 五十年・三十年勤続該当者なし  
● 二十年勤続表彰  
三分団 副分団長 仲野 秀信  
部長 武部 龍仁  
副分団長 野上 和男  
副分団長 長田 純  
副分団長 川崎 浩子  
副分団長 小林 宗之
- 五十年・三十年勤続該当者なし  
● 二十年勤続表彰  
五分団 副分団長 野上 和男  
副分団長 長田 純  
副分団長 川崎 浩子  
副分団長 小林 宗之
- 五十年・三十年勤続該当者なし  
● 二十年勤続表彰  
六分団 副分団長 野上 和男  
副分団長 長田 純  
副分団長 川崎 浩子  
副分団長 小林 宗之

令和六年 南区消防出初式  
消防団員表彰者一覧